

第90期 報告書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで



取締役社長 加留部 淳

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第90期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の事業内容をご報告するにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

去る3月11日に発生いたしました「東日本大震災」で亡くなられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

本年6月、前社長 清水順三の後を受けて、取締役社長に就任いたしました加留部 淳でございます。よろしく願い申し上げます。

平成22年度の経営環境について

当社を取り巻く経営環境は、世界経済が新興国に牽引される形で緩やかな回復傾向となり、それを受けて日本経済も足踏み状態から脱却の動きをみせました。地域別にみますと、中国をはじめインドや東南アジア諸国は内需を中心に堅調に拡大が続き、また欧米諸国は、一部の国で金融不安が継続し、デフレや失業率の高止まりなどいくつかの懸念材料を抱えながら

も、各国政府の景気対策や新興国向け輸出に支えられ、持ち直し傾向となりました。しかしながら、新興国の需要拡大や米国の金融緩和策、更には2月以降に緊迫化した中東情勢により、原油をはじめとする資源価格が高騰したほか、3月の東日本大震災における被害と電力供給不足による生産減少等により、年度末に向け経営環境は大きく悪化しました。

平成22年度の業績

このような内外情勢のもと、当社は「考える」「挑戦する」「変化する」という年度経営方針を掲げ、今後の環境変化を見据えた積極的な事業投資を行うとともに国内外の優良事業パートナーと連携を深め、より一層の事業領域拡大を進めました。また、新興国や北米等における自動車生産の回復、中国等における機械需要の拡大に加え、徹底した原価低減と効率化により収益の向上と財務体質強化に努めてまいりました。これらの結果、年度末に向けて経営環境は大きく悪化したものの、売上高は5兆7,436億円、経常利益1,042億円、当期純利益は471億円となり、昨年10月に引き上げました業績予想をほぼ達成することができました。

これにより、期末配当金について、1株につき16円とすることを第90回定時株主総会でご提案したいと存じます。なお、当年度の1株あたりの配当金は、年間では中間配当金12円と合わせ、28円となり、前年度の配当金に比べ12円の増配となります。

平成23年度の取り組みについて

未曾有の大震災が国内の各産業・経済に与える影響は甚大となることが予想され、引き続き厳しい経営環境が継続するものと思われます。このような状況の中、当社グループにおきましては「人・社会・地球との共存共栄をはかり、豊かな社会づくりに貢献する価値創造企業を目指す」という企業理念のもと、平成23年度方針であります「加速」と「変革」を旗印とし、被災地の一日も早い復興に向けた取り組みや首都圏を中心とした電力不足へ対応するための節電対策はもとより、商社に求められる重要な機能の一つである調達・物流などの各産業を支えるサプライチェーン拡充に努めてまいります。また、新たに策定したGLOBAL 2020 VISIONの実現を目指し「次代の自動車の進化」「生活環境の向上」「地球課題の解決」に貢献する新たな事業創造に向けた取り組みにも挑戦してまいります。

当社の企業理念、価値観、成長戦略をご理解いただき、ご支援くださっている株主の皆様へ心より感謝いたしますとともに、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

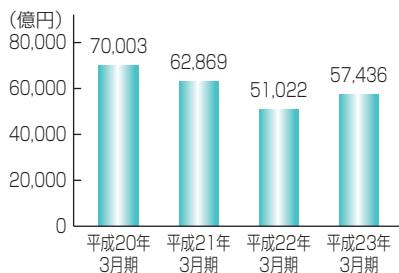
敬 具

平成23年6月

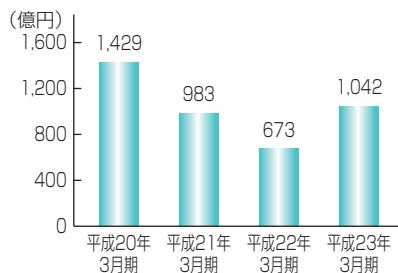
目 次

株主の皆様へ	1
事業トピックス	3
事業報告	
Ⅰ. 企業集団の現況に関する事項	
1. 事業の経過およびその成果	5
2. 対処すべき課題	9
3. 財産および損益の状況	10
4. 重要な子会社の状況等	11
5. 主要な事業内容	12
6. 主要な営業所	13
7. 従業員の状況	13
8. 主要な借入先の状況	14
Ⅱ. 会社の状況に関する事項	
1. 株式に関する事項	14
2. 新株予約権等に関する事項	15
3. 会社役員に関する事項	17
4. 会計監査人に関する事項	19
Ⅲ. 会社の体制および方針	
1. 業務の適正を確保するための体制	20
2. 剰余金の配当等の決定に関する方針	22
連結貸借対照表	23
連結損益計算書	24
連結株主資本等変動計算書	25
連結注記表	26
連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書 謄本	30
貸借対照表	31
損益計算書	32
株主資本等変動計算書	33
個別注記表	34
会計監査人の監査報告書 謄本	37
監査役会の監査報告書 謄本	38

売上高



経常利益



当期純利益

